



五十嵐 優一 議員

高齢者等の生活支援は

回答 生活するためには特に重要

除雪支援は

五十嵐議員 誰もが住み慣れた地域で最期まで、いきいきと心豊かに暮らしていくためには、生活支援と社会参加の体制整備の推進が重要である。除雪支援を必要とする場合に対して、支援可能な件数が不足しているのでは。

買物支援は

五十嵐議員 どうすれば、自分で品物を見て買物ができるのか。今後の対応は。

健康福祉課長 財政的な支援は拡充された。今後も継続して、頼めない人を見落とさないようなきめ細やかな支援を心掛ける。

居場所づくりは

五十嵐議員 町全体、あるいは地域単位での居場所づくりは十分行われているが、今後の対策計画等は。

健康福祉課長 移動を含めて、本人が見て買いたいところに支援する。今後、iPadを利用して店にあるものを見て、買えるような体制づくりなども検討する。

環境整備課長 町単独でも、年間を通して回収拠点を設けるなど、

環境整備課長 町・地域の活性化を図るために



フードドライブ

は、金山校の魅力化を推進するとともに町外生を受け入れる取り組み等の支援が必要ではないか。

教育長 金山みらいサポーター町民会議は、県外生募集による金山校の魅力化を町の活性化にも結びつけていく。

健康福祉課長 SDGsにおけるフードロス対策としての一面と生活困窮者等の支援のその両面で非常に重要な事業と考えているので、今後も継続して取り組む。

新庄南高金山校の支援は

五十嵐議員 町・地域の活性化を図るために

民間委託した各事業の成果は

回答 キャンプ場利用者が大幅に増加



星川 智子 議員

有屋建設に委託したキャンプ場は

星川智子議員 キャンプ場指定管理契約の今後の方針は。

産業課長 キャンプ場の今年度10月末までの実績を過去5年間平均と比較すると利用者が2133人から3356人に、売上で98万5680円から239万7000円と共に大幅に増加している。民間の専門的なノウハウを十分に生かした今年度の取り組みを非常に高く評価している。今後利用者拡大が見込まれるため、来年

度以降も同じ事業者で期間を2年とし議会に提案した。

リンベルに委託したふるさと納税事業は

星川議員 今年度8月までの寄付額が昨年度実績に達していない。これからの取り組みなどは。

総合政策課長 10月に



新庄市とふるさと納税の共通返礼品に関する協定を締結

返礼品のルールが厳格化されたため、駆け込み需要で9月時点で昨年度比27・6%増の伸びがあった。今後は新庄市と連携した返礼品の提供も開始する。また、年末に増加する寄付に向け、各ポータルサイトに広告を打ち出し返礼品のPRをしている。その他、昨年在

SAIに委託したマルコの蔵は

星川議員 公民館大会の講演でサイ氏から各国大使を招きたいなどの話があったが、実際世界から金山に多くの人を呼べるのか。町の評価は。

環境整備課長 提案に

ついての具体的な話はない。金山を知っていただき、来訪いただくための一助を担いたいとの考えは聞いている。また、メタバースを活用した自主事業の提案もあり、サイ氏の人脈で多くの来訪者を期待している。



サイ ヒロコ氏

防災教育をキャンプ場で

星川議員 キャンプは災害発生後の避難生活に類似し防災教育として有効なことから、町で取り組んでは。

町民税務課長 キャンプ場では、防災を考慮したキャンプを来年度予定しているようだ。町もキャンプを防災のための有効な体験としてお知らせしたい。